

事前協議(交流事業／公共交通型)

様式第1号

令和7年11月1日

(宛先)松山圏域連携協議会会長

(団体又は代表者の住所)〒791-8053

松山市若葉町△番△号

(団体名) ●●まちづくり協議会

(代表者職名・氏名) 会長 ○○ ○○

(担当者氏名) ○○ ○○

(連絡先)電話:089-▲▲▲-1234

FAX:089-▲▲▲-5678

メール:□□□@ymail.ne.jp

松山圏域交流活動促進事業補助金交付事前協議書(交流事業用)

松山圏域交流活動促進事業補助金の交付を受けたいので、以下のとおり事前協議します。

活動日	令和7年11月22日					利用予定の公共交通又は貸切バス		別紙のとおり。	
活動参加者数	5名	公共交通又は貸切バス利用者数	往路	4名	復路	3名	補助金交付申請予定額	4,000円	
申請区分	☐ 交流事業ア(団体交流型)					団体要件 (該当するものチェック)		申請団体	交流団体 交流事業アの場合のみ
	○ 交流する団体の名称(所在する市町名) ▲▲自治会(伊予郡砥部町宮内)					(1)団体の構成員の過半数は地域の住民や事業者が占めている		☒	☒
	○ 交流する場所の名称(所在する市町名) ▲▲集会所(伊予郡砥部町宮内)					(2)団体の運営に関する規程(規約、会則、定款等)を設けている		☒	☒
	○ 交流内容 (活動内容や課題等に係る意見交換、事業の活動見学)					(3)団体の運営に関する規程で、地域の維持や課題解決、活性化等につながる地域活動を行っていることが確認できる		☒	☒
	☐ 交流事業イ(イベント出展型)								
	○ イベントの名称(開催される市町名)								

※ 上記申請予定額を上回る額で申請を受け付けることはできませんので注意してください。

※ 申請団体の運営規程(規約、会則、定款等)を御提出ください。

※ 交流事業ア(団体交流型)の場合は、交流する団体の運営に関する規程も提出してください。

受付市町で記入

市町記入欄

受付日:11月1日 事務局確認日: 月 日 回答日: 月 日 回答市町:

☐ 補助金の交付申請を受け付けます。活動実施後30日以内又は3月31日のいずれか早い日までに申請してください。

補助金交付予定額: 円 受理番号:

※ 上記申請予定額での補助金交付を決定したわけではありません。申請の内容によっては、不交付決定または上記申請予定額を下回る額で交付決定となる場合があります。

☐ 申請予定額が本事業の予算残額を超過するため、補助金の交付を受けられません。

☐ 活動内容が補助対象と認められないため、補助金の交付を受けられません。

☐ 貴団体が対象団体と認められないため、補助金の交付を受けられません。

☐ 交流する団体が対象団体と認められないため、補助金の交付を受けられません。

☐ ()ため、補助金の交付を受けられません。

様式第1号 別紙

【公共交通等利用予定】

小児運賃、障害者割など
※事前協議の申請予定額を超えて補助金を交付する事はできないため、往復割や団体割など、割引後の利用額が不明確な場合は通常料金を記載してください。

「公共交通型」の場合は、3名以上で公共交通を利用する予定の区間を記入してください。

「貸切バス型」の場合は、10名以上で貸切バスを利用する予定の区間を記入してください。

公共交通等の種類※	利用区間	①単価 (貸切バスは借上料)	②利用 者数	利用額①×② (貸切バスは①を記入)	割引の種類 該当の場合のみ記入
伊予鉄電車	松山市 ⇒ いよ立花	230 円	4 名	920 円	
路線バス	立花駅前 ⇒ 幸田口	700 円	4 名	2,800 円	
路線バス	幸田口 ⇒ 立花駅前	700 円	3 名	2,100 円	
伊予鉄電車	いよ立花 ⇒ 松山市	230 円	3 名	690 円	
	⇒			円	
	⇒			円	

集合地点と目的地の区間のうち、3名以上が利用している区間が補助の対象となります。3名未満となっている区間がないか、確認してください。

※公共交通等の種類

JR、路線バス、高速バス、コミュニティバス、乗合タクシー、フェリー、高速船(中島汽船・石崎汽船)、路面電車、貸切バスなど(乗用タクシー、新幹線は除く)

④③×2/3	4,339.99 円
④を千円未満切り捨て 補助交付申請予定額	4,000 円

④を千円未満切り捨てた額または補助上限額のいずれか低い方を記入してください。
(別の補助金等を受給した(する予定の)場合は差し引いた額を記入)

【貸切バスを利用する場合】

以下に記入の上、貸切バスの借上げに係る見積書を提出してください。

バス運行会社名	
貸切バスを利用する理由を記入してください。	

※ 一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けていない場合は、許可ありとみなすことができる場合があります。その場合、☐は入れずに、「運行委託契約書」「約款」の運行を委託している松山圏域内の各市町担当課に問い合わせてください。

上表の公共交通等の利用に係る経費について、別の補助金等を受給している場合、④を千円未満切り捨てた額から当該補助金等を差し引いた金額を記入してください。

※別の補助金等が、他の補助金等との重複申請を認めていない場合、本事業の補助金は交付できません(併給不可)。

【補助金等の受給確認】

他の団体から公共交通の利用に要する経費の補助等を受けた又は受ける予定であり、当該補助等が他の補助等の重複申請を認めていない場合は併給できません。本件以外の補助金等の受給状況を回答してください。

本事前協議に係る経費について、以下の(1)または(2)から補助金等を受給した又はする予定である。 (1) 国・県・松山圏域内の市町 (2) 国・県・松山圏域内の市町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等	☐ はい 補助金等の名称： 受給額(受給予定額)： 円 ☒ いいえ
--	---

【団体の概要】

※ 「Q&A」の対象団体一覧表で「○」となっている団体等は記入不要です。

団体名			
設立時期	(昭和 ・ 平成 ・ 令和) 年 月		
活動状況	主な活動地域(原則、市町域内を最大の範囲とする。)		
	活動地域に居住する構成員数／団体の構成員数	人／ 人	
活動目的			

様式第3号(本人払用)

補助金交付申請(交流事業／公共交通型)

令和7年11月25日

(宛先)松山圏域連携協議会会長

(団体の所在地又は代表者の住所)

〒791-8053

松山市若葉町△番△号

(団体名) ●●まちづくり協議会

(代表者職名・氏名) 会長 ○○ ○○

(担当者) ○○ ○○

(連絡先)電話:089-▲▲▲-1234

FAX:089-▲▲▲-5678

メール:□□□@ymail.ne.jp

松山圏域交流活動促進事業補助金交付申請書兼請求書

別紙のとおり、活動を実施しました。ついては松山圏域交流活動促進事業補助金の交付を受けたいので、以下のとおり申請(請求)します。なお、確認事項に記載の内容について同意します。

交付申請額: 4,000 円

以下の口座に振り込んでください。

振 込 先	金融機関 コード				店舗 コード			記号 (ゆうちょの場合)			金 融 機 関 名				店 舗 名			
	1	2	3	4	5	6	7					□□□	銀行 組合	金庫 農協	□□□支	店 所		
	預 貯 金 口 座 の 種 別								口 座 番 号									
	普 通 ・ 当 座								8	9	1	0	1	1	1			
口座名義人 (か)		マ ル マ ル マ チ ツ ク リ キ ヨ ウ ギ カ イ カ イ チ ヨ ウ マ																

※ 「①団体の代表者名義」または「②団体名が確認できるその他の名義」の口座に振り込みます (②の口座に振込を希望する場合は、委任払用の様式(様式第3-2号)を使用してください。)

【確認事項】

- ① 補助金交付の審査のため、松山圏域連
ついて照会することに同意します。

② 申請内容に影響のない軽微な修正や明
員が行うことを承諾します。

③ 松山圏域交流活動促進事業費補助金
たためにその交付を受けられなかった場

④ 上記に記載された受取口座への振込手続後、記載間違い等の事由によりその振込みが完了せ
ず、かつ、申請後30日以内に、連絡・確認ができない場合には、当該申請が取り下げられたものと
みなします。

⑤ 偽りその他不正の手段により、及び交付条件に違反して補助金を受給していることが判明した場
合には、補助金を返還することを誓約します。
- 振込先口座が、団体の代表者名義又は団体の口座であることが確認できる名義となっているか確認してください。

※ 団体の代表者以外の名義である場合は、「委任払用」の様式で提出するよう、団体に連絡してください。

様式第4号

松山圏域交流活動促進事業 活動実施報告書(交流事業用)

団 体 名	●●まちづくり協議会			
活 動 日	令和 7 年 11 月 22 日			
活動参加者数	5 名			
公共交通又は貸切バス 利用者数	往路	4 名	復路	3 名
利用した 公共交通又は貸切バス	別紙のとおり。			
交流した団体の名称 又は 出展したイベントの名称	▲▲自治会			
目的地の名称(市町名)	▲▲集会所(伊予郡砥部町)			
活 動 内 容 どのような活動をしたか、できるだけ 具体的に記入してください。	事務所内で、▲▲自治会の沿革、活動内容や今後の課題等について話を 聞かせていただいた後、実際の活動を見学した。見学後は交流会を開催 し、親睦を深めた。			
活 動 効 果 事業実施の感想だけでなく、上記活動によ り、団体にどのような効果があったか、 できるだけ具体的に記入してください。	同様の活動を行っている▲▲自治会と、活動内容や課題を共有したこと により、参加者からは今後の活動に活かせるアイデアが出てきた。 団体で支出した費用(概算) 約 25,000 円			
本補助事業に関する御意見 本補助事業について、良かった点や改善 すべき点がありましたら記入をお願いします。	(自由記入)			

補助金交付申請予定額の範囲内で収まる場合は、事前協議から人数が変更となっても構いませんが、公共交通型・貸切バス型のそれぞれの人数要件を満たしているか確認してください。

当該活動を行ったことで、参加者個人ではなく、**団体**にどのような効果があったのかという観点から記入してあるか、確認してください。
また、経済効果として、施設利用や飲食などで団体として支出した費用も記載ください。

※ 以下の書類を併せて提出してください。

- (1) 事業実施が確認できる写真
- (2) 活動参加者の名簿
- (3) 「交通費の支払を証明する資料」又は「利用区間の運賃が確認できる資料及び公共交通の利用が確認できる写真」
- (4) 交流事業ア(団体交流型)の場合は、交流活動実施証明書(様式第5号)
- (5) 交流事業イ(イベント出展型)の場合は、事業実施が確認できる書類(イベントのチラシ、出展者決定通知書、会場レイアウト図等)
- (6) 貸切バス型の場合は、貸切バスの借上げに係る領収書(写しでも可)を必ず提出してください。

様式第4号 別紙

【公共交通等利用報告】

小児運賃、障害者割、往復割、団体割など

「公共交通型」の場合は、3名以上で公共交通を利用した区間を記入してください。
「貸切バス型」の場合は、10名以上で貸切バスを利用した区間を記入してください。

公共交通等の種類※	利用区間	①単価 (貸切バスは借上料)	②利用 者数	利用額①×② (貸切バスは①を記入)	割引の種類 該当の場合のみ記入
伊予鉄電車	松山市 ⇒ いよ立花	230 円	4 名	920 円	
路線バス	立花駅前 ⇒ 幸田口	700 円	4 名	2,800 円	
路線バス	幸田口 ⇒ 立花駅前	700 円	3 名	2,100 円	
伊予鉄電車	いよ立花 ⇒ 松山市	230 円	3 名	690 円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	
	⇒	円	名	円	

※公共交通等の種類
JR、路線バス、高速バス、コミュニティバス、乗合タクシー、フェリー、高速船(中島汽船・石崎汽船)、路面電車、貸切バスなど(乗用タクシー、新幹線は除く)

③合計額	6,510 円
④③×2/3	4,339.99 円
④を千円未満切り捨て 補助金交付申請額	4,000 円

④を千円未満切り捨てた額または事前協議の補助金交付予定額のいずれか低い方を記入してください。
④を千円未満切り捨てた額を受給した(する予定)の場合は差し引いた額を記入)

上表の公共交通等の利用に係る経費について、別の補助金等を受給している場合、⑤の額から当該補助金等を差し引いた金額を記入してください。
※別の補助金等が、他の補助金等との重複申請を認めていない場合、本事業の補助金は交付できません(併給不可)。

令和 7 年 11 月 25 日
申請団体名 ●●まちづくり協議会
代表者 職・氏名 会長 ○○ ○○

※ 支払を証明する書類(利用者数分の領収書や切符の写真など)が提出できる場合は、署名不要です。
※ 貸切バス型の場合は、貸切バスの借上げに係る領収書(写しでも可)を必ず提出してください。

【補助金等の受給確認】

他の団体から公共交通の利用に要する経費の補助等を受けた、又は受ける予定であり、当該補助等が他の補助等の重複申請を認めていない場合は併給できません。本件以外の補助金等の受給状況を回答してください。

本事前協議に係る経費について、以下の(1)または(2)から補助金等を受給した、又はする予定である。 (1) 国・県・松山圏域内の市町 (2) 国・県・松山圏域内の市町が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人等	☐ はい(カッコ内に補助金等の名称等を記入してください。) 補助金等の名称： 受給額(受給予定額)： 円 ☒ いいえ
---	--

様式第5号

松山圏域交流活動促進事業 交流活動実施証明書

- ・ 交流活動実施の際は、この確認票を訪問先に持参してください。
- ・ 《訪問先記入欄》は申請団体が訪問して交流した団体が記入してください。
- ・ 合同で申請する団体同士の交流の場合は、この様式を提出する必要はありません。

《申請者記入欄》

申請者 (団体名)	●●まちづくり協議会
活動年月日	令和 7 年 11 月 22 日
交流する団体の名称	▲▲自治会
交流内容	活動内容や課題等に係る意見交換、事業の活動見学

《訪問先記入欄》

訪 問 証 明 欄 ※	申請者が当団体を訪問し、上記交流をしたことを証明します。
	【証明者】訪問先団体名称: ▲▲自治会
	訪問先団体住所: 伊予郡砥部町宮内□□番地(▲▲集会所内)
	代表者氏名: 会長 ●● ●●
	担当者氏名: 事務局 ▲▲ ▲▲
	電話番号: 089-□□□-9101

《松山圏域連携協議会から訪問先担当者へお願い》

- ・ 申請者が本書を持参した場合は、※訪問証明欄の記載に協力してください。
- ・ 事実確認のため、松山圏域連携協議会の担当者から連絡させていただく場合があります。

様式第6号

活動参加者名簿(実績報告)

参加者氏名		公共交通又は 貸切バスの利用 (利用あり:○ 利用なし:×)	
		往路	復路
1	伊予 一郎	○	×
2	東温 二郎	×	○
3	久万 三郎	○	×
4	松前 花子	○	○
5	砥部 陶子	○	○
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			